

教科横断探究コース

サイトは
こちら!

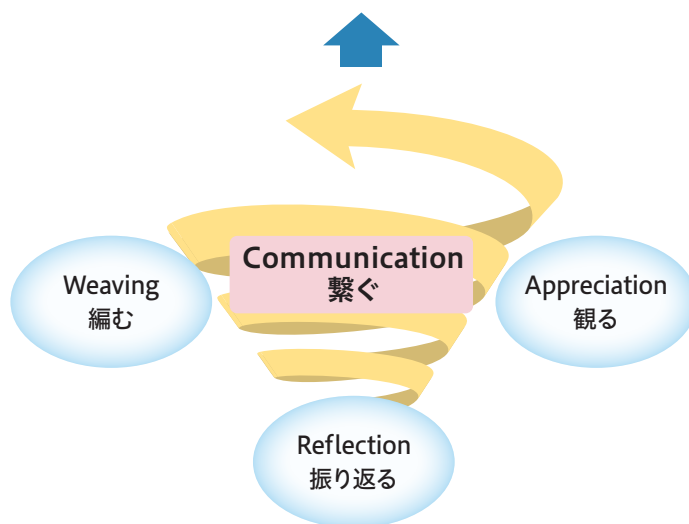


2006年から設置されている「6年一貫教員養成コース」を
「教科横断+探究学習」に重点化し、2021年度から新たにスタート

世界中の一人ひとりの幸せ(Well-being)を実現するためには、これまでの知識体系や人とのつながりを超えた発想で、協働して挑戦することが強く求められています。教科横断探究コースでは、このような課題に取り組むため、人やモノ、ディシプリン間のコミュニケーションを通して次のような資質・能力を発揮できる教師の育成を目指します。

- 「観る」: 他者や世界に共感して思いや感じ方を理解すること、自らの行動や実践を観ること。
「編む」: 課題に対する探究活動のなかで、教科の学びを編み直し、新たな知識、見方・考え方、スキルを創り上げていくこと。
「振り返る」: 自己と他者、自己と社会のつながり、自らの実践を、省察すること。

Well-beingの追求



TOPICS

教科横断探究コースでは、学内での活動だけでなく学外でも積極的に活動し、学びの場を広げています。21期生は「なごやULTLA」という探究学習プログラムに参加し、子どもたちの探究的な学びをサポートしました。子どもたちは、自分らしさや自分の好きなこと、自分の学びの方法を、自分と向き合う活動や体験活動を通して見つけていました。



20期生は株式会社デンソーの「みつばちプロジェクト/サステナハニー」の取り組みに学ばせていただき、その学びを生かして「あつまれ!子どもキャンパス」ではミツバチを媒体とした環境保全の取り組みを広めるプロジェクトを行いました。そのプロジェクトを通して、学生たちは企業との連携を学び、仲間同士の持ち味を生かす大切さについても実感することができました。

コース生の声



教科横断探究コース20期生

自分たちでやりたいことを考え、主体的に学べるのが教科横断探究コースの魅力。各期に2人のコーディネーターの先生が在籍し、広い視野と柔軟な発想で学生の気付きを引き出してくれるので、学びをどんどん深めていけます。現在、私たちの20期ではミツバチの生態や環境への影響を調べ、子どもたちに伝えるための教材を作っています。大学内で開催された「あつまれ!子どもキャンパス」では、紙芝居やクロスワードを作って子どもたちへの環境教育を実践しました。また、西尾市の佐久島しおさい学校では、他の専攻の学生とチームを組んで授業を実施。異なる視点を持つ仲間との協働は、教科横断の学びや探究学習の可能性を実感する貴重な機会となりました。